

AIとも共創しえる「感性」を養い、生き生き活躍しよう！

2つの講座の御案内

1. 自主自律型ビジネスパーソン育成に向けての

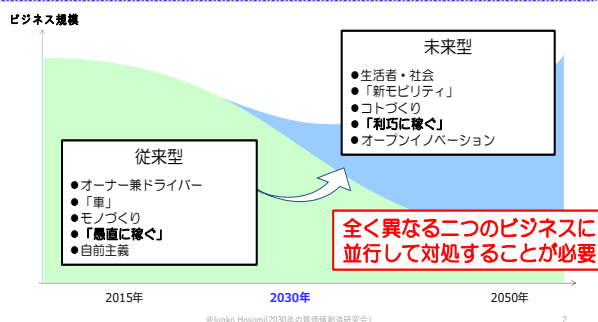
「感性思考入門」(10/9)

2. 新たな価値創造のための

「感性思考」と知覚力向上ワークショップ° (10/28)

今、なぜ「感性」なのか。その背景と必要なスキルについて

ものづくり+コトづくりのビジネス領域拡大によるパラダイムシフト



このパラダイムシフトで変わる知的労働者の仕事

品質＝お客様に提供する**価値**

守：これまでの工業化での主流 Quality Control(生産性、機能性)
モノの質を制御する+情報・サービスの制御 ⇒ 自律的に最適化<自動化>
(AI, IT等の最適化有効活用)

攻め：いま、これから取り組む主流：**価値創造**

今：モノの質を創る
+情報の質を創る
+経験の質を創る
+行動の質を創る
+持続性の質を創る

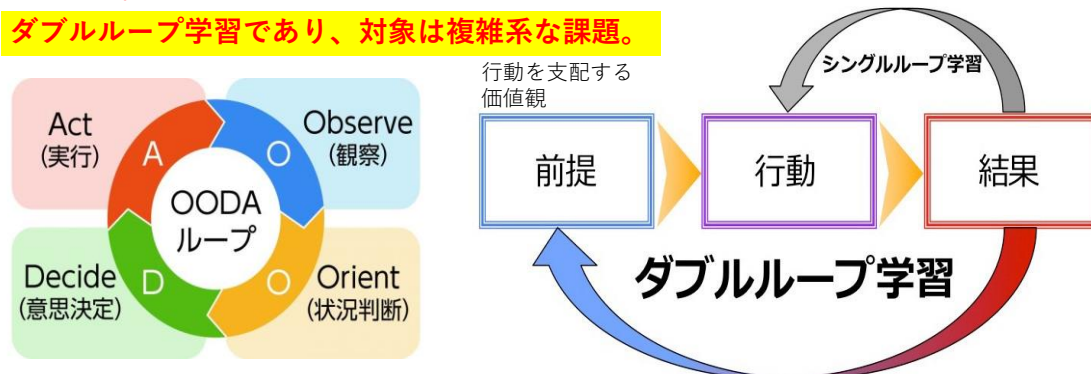
©Junko Hosomi(2030年の質価値創造研究会)

守から攻めへの仕事の仕方：「カタ思考」から「感性思考」へが重要

攻め：五感思考：まだ未知の潜在的なニーズに対し、「カタ」や「バイアス」を排除し、先入観なく自らの五感で感じる「ワクワク」等を基軸に価値創造を行う。

自らの五感による「観察」「状況判断」「意思決定」を瞬時にし、「実行」を重視。このサイクルをなるべく迅速に多く経験し、行動だけでなく、その行動の元となっている**前提の価値を新たに創出してゆく。**

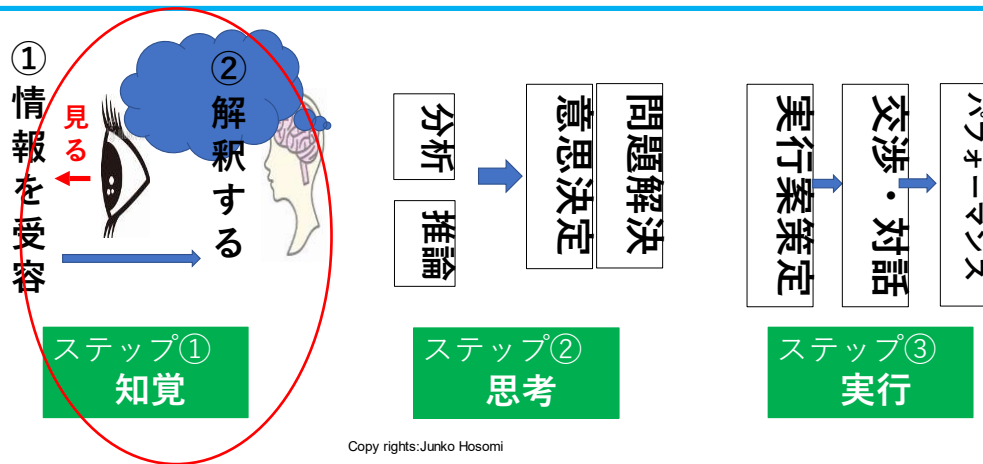
ダブルループ学習であり、対象は複雑系な課題。



攻め：感性思考/「知覚」を磨く ➡

独自の強みを活かす

人間の知覚～意思決定～行動までのプロセス



攻め：感性思考①五感による感性をベースに

★自らが考える理想や哲学を表現する。

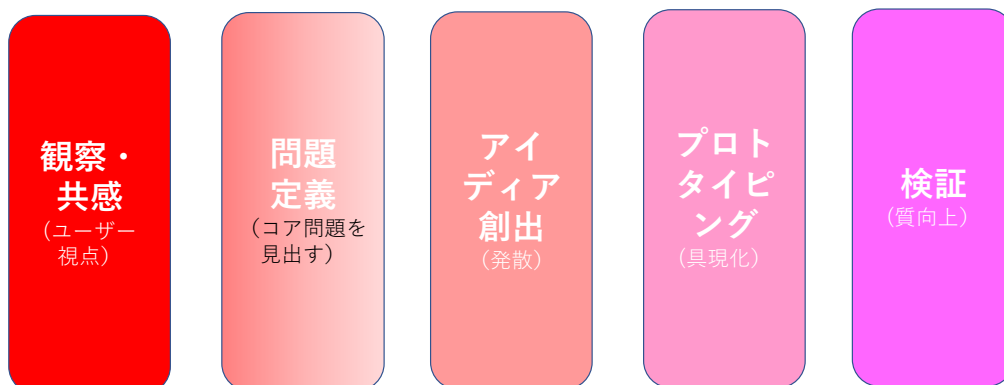
自らの価値観・審美眼でとらえ、表現する。

「ニーズを越えた感動」を生むことが求められる。



攻め：感性思考②五感を言語化し論理で検証する

デザイン思考で顧客に「共感」し、その課題を解決するために、以下のプロセスを経ながら、顧客が五感で感じるニーズに対応し、価値創出する。



Copy rights: Junko Hosomi

「入門」(半日、オンライン)と、向上ワークショップ(1日、会場参加のみ)の2つのコースをご用意しました

① 自主自律型ビジネスパーソン育成に向けての「感性思考」入門

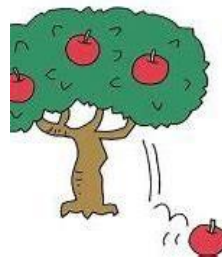
* 履修内容 *

- ・社会における変化と必要なスキル
- ・感性思考とは何か
- ・感性を拓くとは
- ・現象を五感でとらえ、言語化する演習

< 対象 >

- ・自らの感性を拓き、独自の視点で仕事や人生に価値を生みたい方

ニュートンにだけリンゴが樹から落ちてきたのではない



< 知覚力で大事なこと >

- ①ただ素直に見ることの重要
- ②当たり前に「なぜ？」と問いを立てることの重要さ
- ③解釈は人それぞれであり、人の感性と知見による

Copy rights: Junko Hosomi

3H、オンライン ZOOM の会議機能で開催します。

学校ではあまり学んだ事がない、感性を拓く学びを体験下さい

② 新たな価値創造のための

「感性思考」と知覚力向上ワークショップ(1日)

* 履修内容 *

- ・感性思考とは何か
- ・現象を五感でとらえ、表現する
- ・P.ドラッカーが示唆した「水墨画とマネジメント」のシナジーとは
- ・感性思考を用いて新たな価値を創造するには

< 対象 >

- ・セルフマネジメント、あるいは組織や人のマネジメントに関心あるすべての方々
- ・自らの感性を拓き、新たな視点で価値を生みたいすべての方
- ・今までと異なるアプローチでアイデア出しを行いたい方

1日(6H)で、集合会場でのみ開催(オンライン配信なし)

五感を使い、水墨画を描く、ビジネスアイデアを創出するワーク等あり。

マネジメントの父：ドラッカー
が見出した日本水墨画×知覚力

自然を写す水墨画：

自らを「社会生態学者」と称した
マネジメントの父、P. ドラッカーは日本の
室町期水墨画のコレクター。

「マネジャーは水墨画のように
組織をとらえよ」とその著
「マネジメント」で述べ、“知覚”
(perception)という言葉を使っている。

Copy rights: Junko Hosomi



＜講師紹介＞

(一社) 中部品質管理協会/経営企画室主査
2030 年の質価値創造研究会/専務理事

細見 純子



中部品質管理協会にて長年にわたり日本的品質管理・品質経営の紹介・普及に従事する支援指導の対象は製造業から国家事業として医療安全分野へ、そしてトヨタ財団とともに社会課題解決の NPO 等へと幅広い。並行し、これまで ISO 事業構築、オールトヨタマネジメント指標 (MAST)・研修構築と普及にも携わる。「トヨタの問題解決」「自工程完結」認定講師。加え「ファシリテーション」「フレームワーク思考」「コミュニケーション」等ビジネススキルのオリジナルコースを設計し自ら指導にも長く携わる。2017 年から 3 年間は時代の変化をとらえた「IoT 時代の品質保証研究会」を提唱し主催。考察内容を「2030 年の品質保証～モノづくりからコトづくりへ」として有志メンバーで共著出版 (日科技連出版社、2021 年秋)。2022 年春に「2030 年の質価値創造研究会」を創設し、2030 年にむかって新たな品質保証の役割や価値創造を考察している。水墨画家として 2021 年ドバイ万博に招聘される他、国内外で活動。他に音楽と茶道においても国内外で 30 年以上活動実績を重ねる。NPO 法人ドラッカー学会会員、他。

＜会費＞ 一人当たり

① 自主自律型ビジネスパーソン育成に向けての「感性思考入門」

(会員) 11,000 円/人 (一般) 13,200 円/人

② 新たな価値創造のための「感性思考」と知覚力向上ワークショップ

(会員) 26,400 円/人 (一般) 33,000 円/人

申し込みは HP からお願いいたします。

<https://www.cjqca.com/event>

＜問い合わせ＞

コース内容について: 企画(講師)の細見へ jun.hosomi@cjqca.com

申込他について: 研修事業部 神谷 kamiya@cjqca.com

